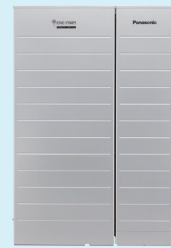


かんたん
操作ガイド

停電が発生したら!

停電が発生しても発電を継続。
給湯・暖房も使用するために。



パナソニック製 2021年モデル

※詳しくは取扱説明書をご確認ください。

停電時発電継続機能付き
エネファームをお使いのお客さまへ

●対象燃料電池ユニット品番/FC-70LR13R
●対象台所リモコン品番/FC-KRL1DS

エネファームが発電中なら停電が発生しても発電を継続します。
停電中には停電時専用コンセントから電気を使用することができます。

※停電時に発電をするためには、都市ガスと水道が供給状態であることが必要です。
※エネファームが発電停止中の停電時には、外部電源を使用してエネファームを起動させ、発電を開始することが可能です。

エネファーム パナソニック製2021年モデルには「停電そなえ発電」機能があります。

停電そなえ発電機能とは… 停電発生にそなえて48時間連続発電を行う機能です。ネットワークを経由して停電の発生リスクを検知すると、「停電そなえ発電」に自動的に運転を切り替えて停電に備えます。

事前準備と確認

下記設定を行うと、ネットワークを経由してお住まいの地域の暴風雨や台風などの停電リスク予測情報を受信したときに自動で「停電そなえ発電」に切り替わります。

- 1 台所リモコンで停電発電モード設定が「停電発電入」となっていることを確認してください。
※出荷時設定は、「停電発電入」です。
- 2 停電リスク予測連動設定が「入」になっていることを確認してください。
※出荷時設定は、「入」です。

3 ネットワーク許諾設定を以下の手順で設定してください。※初期設定で「同意する」にしていれば不要です。

- 1 「メニュー/戻る」を押す。
- 2 「▼」「▲」で「ネットワーク関連設定」を選んで、「確定」を押す。
- 3 「▼」「▲」で「ネットワーク許諾設定」を選んで「確定」を押す。
- 4 確認画面が出たら「確定」を押す。
- 5 「▼」「▲」で「同意する」を選んで「確定」を押す。

4 停電時の電気は停電時専用コンセントから使用可能です。停電時専用コンセントの位置を確認してください。
※停電時専用コンセントは通常時には使用できません。

お住まいの地域の暴風雨や台風などの停電リスク予測情報を受信したときに、
自動で「停電そなえ発電」に切り替わります。

停電リスク予測情報を受信すると

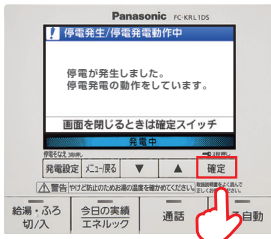
- 1 自動で停電そなえ発電に切り替わる。※発電停止中の場合は、発電開始まで起動時間が必要です。(約40分)
- 2 停電そなえ発電を開始する。
- 3 停電が発生したら、停電発電に切り替わる。

〈注意事項〉

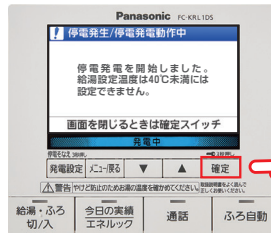
- ※発電モードが「発電切(おでかけ停止)」に設定されている場合は、自動で停電そなえ発電に切り替えができません。発電モードを「自動発電」などに変更し、手動で「停電そなえ発電」に切り替えてください。(裏面参照)
- ※保護動作中は、発電そなえ発電に切り替わらない場合があります。保護動作が終了すると停電そなえ発電に切り替わります。
- ※停電そなえ発電は停電時の発電を保証するものではありません。停電リスク予測情報を受信した際のエネファームの状態や、停電発生タイミングなどによっては、停電発生までに発電を開始できない場合があります。
- ※「停電そなえ発電」の自動切り替えには、都市ガス・水道・系統電力が供給状態であることが必要です。

※停電そなえ発電は48時間継続します。停電そなえ発電中は700Wまで発電できます。
※貯湯タンクのお湯が満タンに近づくと浴槽にお湯を自動で排水します。

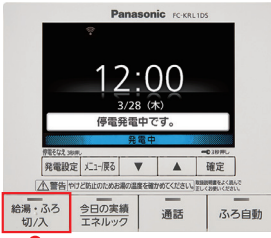
停電後、電気を使用する方法



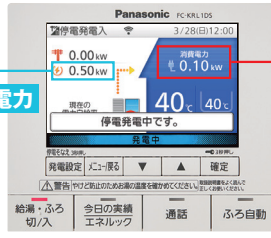
1 停電が発生すると音声と画面でお知らせがあるので、表示画面を確認し「確定」を押す。



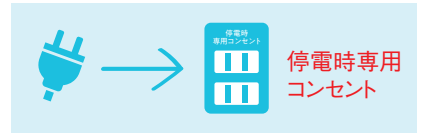
2 表示画面を確認し「確定」を押す。



3 「給湯・ふろ 切/入」スイッチを押し「入」の状態にする。
※既に「入」になっている場合、本操作は不要です。



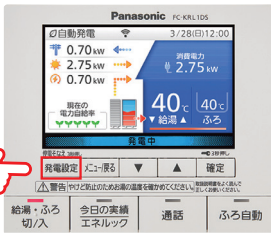
使用(消費)電力



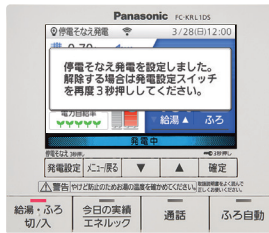
4 使用したい電気製品を「停電時専用コンセント」に接続して使用する。その際、使用電力が発電電力以下になるよう電気製品の使用量を調整する。

急な天候変化で停電の恐れがある場合や、計画停電などに備えたいとき、「停電そなえ発電」に手動で切り替える方法

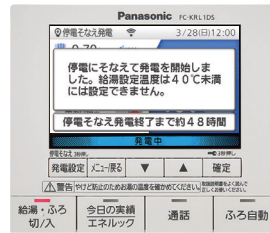
ネットワークに接続していなくても使用できます。停電が予想される時刻よりも2時間ほど前までに設定してください。



1 「発電設定」を3秒以上押す。



2 停電そなえ発電に切り替わる。

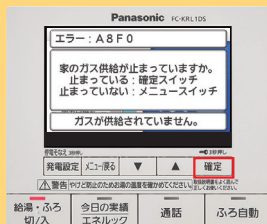


3 停電そなえ発電が開始する。

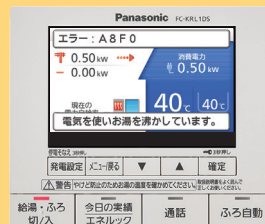
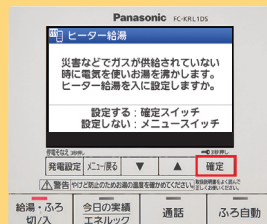
もしもガスが停止したら…

ヒーター給湯の使い方

災害などでガスが停止した場合、周囲の安全を確認した上で、機器に異常・故障がなければ、ガスが復旧するまで電気でお湯をためて、給湯に使用することができます。



ガスの停止を確認する。
※ガスのおいがないなど、周囲の安全を確認してください。



1 表示画面を確認し、「確定」を押す。

2 表示画面を確認し、「確定」を押す。

3 ヒーター給湯が始まる。
※故障表示「A8F0」が表示されますが、使用に問題ありません。

〈注意事項〉

- ※「ヒーター給湯」はガス停止時のみ使用できます。停電や断水が発生している場合は使用できません。また、冬期など凍結のおそれがある場合は、凍結予防動作が優先され、その間「ヒーター給湯」は使用できません。
- ※「ヒーター給湯」の場合、お湯が無くなる場合がありますので、残湯量表示を確認しながら使用してください。
- ※「ヒーター給湯」を使用すると、貯湯タンクが5目盛りになるまでお湯をつくります。お湯がたまるまでの時間は、右記表を目安にしてください。季節や設置環境などによって異なります。

貯湯タンク容量130L	水温5℃	水温15℃	水温30℃
貯湯タンクの残湯量が0目盛りから5目盛りになるまでの時間	24時間	19時間	12時間

※お湯が5目盛りまでたまると「ヒーター給湯」は運転を停止しますが、お湯を使用して3目盛り以下まで減らすと運転を再開します。